

# 久万高原町 議会だより

第17号

2018年  
5月



父二峰幼稚園の卒園式

## 主な内容

1月臨時議会	2	産業建設常任委員会	16~19
3月議会概要	3	議会最終日	20~21
一般質問	4~10	委員会研修報告	22~23
議会2日目	11	編集後記	24
総務文教厚生常任委員会	12~15		

## 1月臨時議会

除雪費用1008万円と道の駅天空の郷さんさんの指定管理移行に伴う新会社設立費用として1200万円が上程され、原案可決した。

## 質疑

**大原** さんさんの整備には当初多額の予算が投入され、今回も町予算で新会社が設立される。基本構想として、庭先野菜の集出荷方式の確立や雇用の場の創出により、町民所得向上を図ること、さんさんを核として中心市街地活性化や町内周辺観光施設等への誘客を行う交流人口拡大を図ることがあったと思う。従ってここで得られた利益はまちづくりに還元されて然るべきであり、新会社は当初の基本構想や交付金事業の補助目的を逸脱しないように、これら目的等を確実に継続して移行されるように指導していただくべきと思うが、町長の考えは。

**町長** 今回、第3セクターに移行するが、さんさんの狙いは決して変わるものではない。出荷者を増やし、小規模で野菜を作っている方々の少しでも利益になるように、その拡大を図っていききたいし、従業員の内規雇用も考えなければならぬ。大きな目的をもって当初

からの理念をそのまま、さらに拡大し、しっかりと運営をしなければならないと考える。議員ご指摘のこと、間違いなく執行していく。

**玉井** 出資金990万円はどういう計算をして積まれ、その使い方。

**ふるさと創生課長** 出資金は1千万円を超えると消費税がかかるので、経営安定化を目指して990万円とした。使途は出資金として当面はおきたい。日々売り上げが入るので、出資金を取り崩さなくても運営は可能と考えている。

**日野** M&Aがやられたときは、とんでもないことになると思う。今後増資があっても51%の株券は町が保有するという形でやっていただきたいが。

**町長** 国からの通達として50%を超えない範囲でということを知っているが、いずれにしても町がしっかりと責任をもって、リーダーシップを発揮できるように詰めていく。株式発行は、そのような心配が起らないような制限はしっかりとかけていきたい。

**日野** 営利団体になると新しい社長が来て、社長の責任として儲けなくてはならない。一般の方が出資していれば配当をしないとけない時が来る。そうなる通常営業の中で、これは儲けにならないぞ

ということが起きてこないかと心配になる。あれはカット、これはカットとされたら困る。町の管理の威信、力をもつて、これはやめてもらったら困る、少々儲けを落としても住民のためにお願いしてもらわないと困るといふ、現状を守るためにそういうことは必要と考えるが。

**町長** あくまでも町の活性化を目的として造られた施設である。町民生活向上が一番の目的であるから、ご指摘の懸念は間違いないように、万が一にもそうならないように、しっかりと対応していくことを明言する。

**岡部** 設立に係る定款の議論も進んでいない中での出資金の予算計上はいかがなものか。

**町長** 4月1日から力強くスタートしたいという刻限もあることでの予算計上をご理解いただきたい。**岡部** 準備会においても、マネジメント能力のある取締役・定款やスタッフの問題が詰められていない。準備会の存在が有名無実になるのであれば即刻解散して町長部局で作業を進めたほうがいいのではないか。

**町長** 定款については、次の準備会に提示して司法書士・社会保険労務士を交えて急いで協議する事としており、4月1日に間に合うよう努力していく。

**岡部** 取締役やスタッフについて

定款上である程度取り決めをされたから議会で提案すべきであったのでは。

**ふるさと創生課長** 手続き上では瑕疵があったかもしれない。できなかつた定款を本会議に提示できなかつたことは誠に申し訳なく思っている。

**岡部** 取締役の人数等、準備会で協議されていない内容が議会に出てくることは軽々な対応である。

**ふるさと創生課長** いくつかの部分で瑕疵があったが、4月1日に新会社を立ち上げて営業を開始するには、2月中に新会社の設立登記を完了させねばという中で対応であり、提案順序を含めた手続きにおいて不備な点があったことをお詫びしたい。

**玉井** 22日の全員協議会で社長を決めたと。株式会社取締役は株式の役員で決めるべきであつて、町長が社長を決めていいのか。私は株主総会を開いて役員を決めるべきと理解している。

**ふるさと創生課長** 先全員協議会にて、第3セクター方式による株式会社を立ち上げたいと説明した。町長から代表取締役の話があつたが、これはあくまでも候補者である。議員の理解もいたいたい。今後、設立総会等で正式に決まっていくなと思う。

平成30年

## 3月定例議会

3月6日～16日

3月6日から16日までの11日間開催し、条例の制定3件、一部改正11件、廃止2件、平成29年度一般会計・特別会計補正予算12件、平成30年度一般会計予算、特別会計10件、事業会計3件、人事案件(監査委員・人権擁護委員)、道の駅・ふるさと村の指定管理者の指定、町道路線の認定・変更ほかについて可決、承認した。

## □ 平成29年度補正予算

補正後総額	166億9371万円	(2億5028万円 減)
一般会計	103億574万円	(2億6848万円 減)
特別会計	42億827万円	(917万円 減)
事業会計	21億7969万円	(2737万円 増)

## □ 平成30年度予算

総額	139億8963万円	(前年度比 12億88万円 減)
一般会計	80億2939万円	(前年度比 9億9041万円 減)
特別会計	38億4145万円	(前年度比 2億7089万円 減)
事業会計	21億1879万円	(前年度比 1094万円 減)

上浮穴高校の存続が危ぶまれている中で、さらに深刻なのが、地域の小学校、幼稚園の園児、児童数が、激減している現状です。

写真は、一人だけの、父二峰幼稚園の卒園式です。今年の入園児も、ひとりだけ。川下地区の小学校は、今年、全校入学児ゼロでした。

町も、移住・定住施策を進めていますが、危機感はつるばかりです。しっかり向かい合わなくてはならないまちづくりの大きな課題の一つです。



父二峰幼稚園の卒園式

表紙写真の紹介

一般質問 (1)



天野辰晴議員

道の駅での町内産野菜の取扱量拡大策を提案する

**問** 町内2か所の道の駅の野菜は、集中して同じ場所、同じ品目になっている。また冬季は品物が少なくなったり無くなったりする。道の駅や直売所の売り上げ倍増計画をイメージし、これを達成するために野菜類の種子の無料配布や栽培マニュアルブックの作成、配布あるいは栽培者向け講習会をしてはどうか。

**答** 本町においては夏秋トマト、ピーマン、清流米の苗などの生産販売に加え、町内産直では農産物や加工品販売が行われ、高原野菜といえは久万高原といったイ

メージ作りや農家所得向上に貢献してきた。一方で秋の終わりから春先にかけての農産物不足が課題である。町単独事業によりH29年度まで農産物新規品目作期の拡大実証事業を実施し、極早生、早生、晩生野菜の生産実証や、農産物栽培管理簿の記帳推進を目的とし、試験種苗の無償配布に取り組んできた。本事業においてキャベツ、白菜、ブロッコリーなどの人気野菜の優良品種の掘り起こしや、消費者ニーズに合ったサツマイモの新品種作付拡大といった効果が表れている。質問の種子の無償配布について、県内外の道の駅やJA産直市では店舗経費で安価に斡旋し、農家に作付を依頼する方法が見受けられる。しかしながら農家は販売所得を、販売所は取扱所得を得ることになることから、無償で種苗を配布することは公費の性質上難しいと思う。

河野町長

**問** 栽培マニュアルは以前作成されたと聞いている。これの更新と希望者への配布を考えてもらいたい。栽培講習について、農家は新しい作物や変わった野菜に取り組むことが難しいので、常に

新しいことへの挑戦として続けてほしいと思う。また栽培講習の最終的な目標は、簡単な草刈り機や管理機などの機械の修理、新作物の料理方法など、そんなところまできっちりとできるものにしてもらいたい。

**答**

町において本格的な野菜栽培マニュアルを作成、配布した実績はないが、道の駅開業に向けた支援として中予地方局久万高原農業指導班の監修によって「高原野菜と加工品をつくろう」という冊子が作成され、町内の産直実践農家に配布された実績はある。しかしながら町内の新規就農者に配布できる初心者向けマニュアルはないことから、同じ冊子の再版、内容の充実や新規作成など、町内産直事業者のニーズにも応えながら最も良い方法を検討していきたい。講習会について、道の駅開業前には農産物加工品生産加工スキルアップ講座を年間カリキュラムを組んで数多く開催した。道の駅開業は、春と秋の野菜栽培講習会、食品衛生法や食品表示法といった法令講習会、農産加工に関する講習会について、久万高原農業指導班の指導協

力を得て実施している。H30年度では産直事業出荷者に対する一層の支援において回数とテーマを以前のように拡大して実施していきたい。またH30年度予算において小規模ハウス導入に係る町単独事業を実施し、ハード・ソフト両面から産直事業に取り組む農家を支援していきたいと思う。

河野町長

**天野** 直売所売り上げ倍増計画という種を、どうか蒔いていただきたい。



道の駅天空の郷さんさん



産直店舗内部

一般質問(2)



田村昭子議員

町内に遊園地(児童公園)の設置を提案する

**問** 町においては各課の連携によって、中学生までの医療費無料化や新生児の健康面の見守り援助を行っている。また親が安心して働くために、保育園の認定こども園への移行や幼稚園の延長保育への取り組み、小学生の放課後の居場所づくりなどにも取り組んでいる。以前に川崎議員からも、そしてH29年度議会報告会においても遊園地がほしいという声があった。自然に囲まれた久万高原町の子供たちが、太陽のもとで気軽に元気で走り回れる場所として、また親子や家族が集う場所として遊園地がほしいと思

うがいかがか。

**答**

町内には笛ヶ滝公園と久万公園の二つの公園があり、遊具が設置され利用されている。笛ヶ滝公園はH14年度にブランコほか3基の遊具を設置し、本年度に一部の修繕を行った。久万公園はS60年度に整備したが、木製遊具が老朽化し危険なため、H22年度と本年度に一部を撤去し、現在は残っている遊具6基を修繕し、4月からは利用が可能である。H27年度からH31年度を計画期間とする都市再生整備計画事業において、久万公園の老朽化した遊具を更新する計画を立てていたが、専門委員会や策定委員会において多額の経費を必要とする新遊具の設置は、本当に子どもの利用があるのか需要を見極める必要があるのではとの意見から、現在あるもののうち再利用できるものを修繕して、子供たちの利用状況をみて、改めて検討したほうがよいとの方針が出され、現在に至っている。子供が成長する過程において、屋外の遊び場は自らが学ぶ力を養い、運動能力を高め、豊かな心を育むことになることから、公園への遊具整備の必要性は十分に理解している。久万公園は遊具

の修繕とともに、緑の広場整備や駐車場周辺整備を行い、リニューアルした公園になっているので、多くの子供たちに利用していただけるようにお願いしたい。

河野町長

**問**

若い人たちは久万の地に何を望んで来ているのか。若いころに外で子育てをした、幼いころに親と一緒に遊園地で遊んだ思い出を体記憶できるような子育てができたらどんなにいいかと思う。久万の自然にあった遊園地の整備はできるだけ早くしてほしいというのが私の思いだ。30年度で新しい遊具を検討していこうという考えはないか。

**答**

久万公園の大型遊具については、財政のことも見極めながら今後検討していこうというような結論に至った。ほどなく修繕した遊具もそろそろ、万が一のことに備え監視カメラを2基設置するようになっている。

河野町長

**問**

笛ヶ滝公園に小川の流れを配して池も数個あるが、蛸が住めそうな公園があるが、今は草が茂り子供が遊ぶには危険な状態になっていてもつたないという気がし

ている。笛ヶ滝公園の遊園地についてはどこが整理、管理するようになってくるのか。

**答**

笛ヶ滝の蛸の公園は、退職公務員連盟に管理していただいている。ご指摘の通り、管理が十分でないという声を聞いている。現地を確認したところ、整備した当時の面影が残っているような状況ではないという風に認識している。管理について十分に注意してまいりたい。

ふるさと創生課長



笛ヶ滝公園(遊園地と親水公園)



リニューアルした久万公園

一般質問(3)



熊代祐己議員

持続可能な町づくりについて問う

**問** 人口減少、少子高齢化は非常に厳しい問題であり、交流人口を増やして地域を活性化するしかないと思う。新しい技術や考え方を取り入れて、新たな価値を生み出すことが重要ではないか。若者が住める町づくりと、今後持続可能な町にするための具体的な案を聞きたい。

**答** 町を持続するためには、最重要課題である。他の市町に先駆けて、過疎、少子高齢化が進展する本町は、学校や病院の充実、子育て環境の整備を早急に進めるため、総合戦略を策定し、今まで以上に雇用経済対策と人口問題対策に努めている。具体的には6次産業化や担い手の確保、特性を活かした

産業振興と雇用創出にかかる施策、高原ブランドの確立や空き家の活用など新しい人の流れに係る施策、子育て支援の推進など元気で暮らせる地域づくりを重点とし人口減少対策や地域づくりを推進していく。また、幼稚園の延長保育や子育て支援の強化、防災組織の充実や地域公共交通等の検討も進める。

河野町長

**問** 町長も、住んでみたい久万高原町を目指すと言われているが、公約について具体的にどのように取り組んでいるのか。

**答** 町長就任時に7つの公約を掲げ、一つは攻めの農林業を展開し生産者の所得アップに努め、同じように6次産業も取り組んでいる。次に移住、定住では、就業環境を維持するとともに若者の定住を図り、新たな移住を求めている。暮らしの道、インフラ整備は町づくり懇談会等々での要望にも取り組みたい。そして子育ての優しい環境にある我が町は子供の数が減少しているが、きめ細やかな子育て、指導ができる地域であり、中学生までの医療費無料化もできている。ぜひ若い御夫婦に住んでもらえるよう進めていく。

公共交通、高齢化により停留所までも足がないと言われているので、公共交通の会で有識者

を交えた協議を進めている。今年の雪、去年の台風で大きな被害が出たが、全町での訓練は出来てないので、機会を見て全町挙げて避難訓練を実施したいと考えている。それから、若手職員から意見を聴く会、月2回、幹部会でまちづくりは何が必要か、何が足りないのか自由に述べる機会も設けている。

河野町長

**問** 月2回、幹部会を開いているようだがワンフロアで完結できる体制は役場内で連携できているか。今後、東京オリンピックを境にインターネット環境も急速に大きく変わるのではないかと聞かれています。教育委員会からパソコン等予算が組まれているが役場内での連携、密な打ち合わせ、情報の共有が出来ているか。

**答** 庁内会議は将来を見据えて、持続可能な町を作るために、部局横断の体制が必要になってくる。部局横断で情報を共有し連携をとり足りないものを互いに補う事が大事であると伝えている。超高速ブロードバンドの整備を導入すると農林、商工業、様々な分野で画期的な前進が図れることを庁内で具体的に挙げながら、いずれ住民に集まって頂き具体的に説明をし

ていく。

河野町長

**問** 2月の議員研修で、超高速ブロードバンドの整備が行き届いている地域ではパソコン、タブレット導入にあたり教材や通信設備までが企業体となり取り組んでいた。役場内ではいろいろ情報の共有をしていると思うが、今後は新たな対応、今までと同じではダメだという認識を持つてやっていたらいいか。

**答** 私どもの町も、将来に向けてペーパーレス化も考え、無駄な部分はしっかりと省くことを、庁内でも検討し始めた。部局横断についてお互いに情報を共有していくことを念頭に置いて進めていく。

河野町長

**問** ワンフロアで完結する体制は、予算を組んで入札を行う時も、うちの課はこうするよとか、うちの課はこうするよというような情報交換は現在出来ているか。

**答** 現在、入札は総務課一括で管理しており、各課から出された入札案件を総務課が入札執行するシステムで行っている。今後、議員が言われたように発注に当たっても各課の連携が大事でよりよい方向に十分配慮していく必要があると思う。

総務課長

一般質問(4)



高橋末廣議員

教育改革への対応と環境の整備策を問う

日本の教育は今回、より活動的な教育「アクティブラーニング」を実践する改革が決定され、まさに右往左往しているように感じる。わが町のような小規模校が多い地域にあつては、教員数も少なく課題は多いと思われるがどのような対応を考えているか。

今回の改革では子供たちが主体的に調べたり、話し合ったりして深く学ぶ「アクティブラーニング」が提唱されている。わが町では教職員の研修の充実とICT教育の推進を進めていきたい。

日野教育長

議論を深めるため、教育長と校長の立場、役割、仕事の違いをどう認識しているか。

教育長は教育行政の長であり人的、物的、施設的な

全ての教育条件の整備が役割と考えている。校長については教育機関の経営責任者であり、現場の教育活動の中で学力、体力、生きる力を健全育成していく、その中身に對して責任を負うものである。

日野教育長

今の子供たちはスマートフォンやタブレットが身近にあり、触れる機会も多い。教職員のスキルアップを図り子供たちの能力を充分発揮させることが重要だが教職員のスキルアップについて具体的な対応策はどうか。

子供主体の教育というのは、以前からも総合的な学習等で実践してきた。今回の改革で教職員に全く新しいことをやるうというのではなく、今までの蓄積の上に立った指導をすればよいと認識している。具体的には上浮穴教育研究協議会と連携した研究会や、道徳の教科化や英語教育、プログラミング教育等の対策として県の総合教育センターから講師を招いての研修等を考えている。

日野教育長

教育委員会そのものも改革に対応すべきと思うがどうか。

限られた職員数で努力しているが私なりにリーダーシップを発揮しながら共に取り組んでいく。

日野教育長

教育環境の整備について問う

具体的にどのような対策か。

平成30年度の児童数は、久万小を除く8校が20人未満で、その内4校においては教頭が未配置だ。小規模校の教育の充実のため、専科指導の非常勤講師を配置し、2年と4年の複式などの飛び複式解消のため県教育委員会に加配教員の配置を要望していく。また、事務職員がいない学校に對して町費で配置し先生方の教育活動を側面から支えていきたい。本町の超高速ブロードバンドの整備に合せてICT教育の推進を加速させることにより、町内各学校での遠隔授業をはじめ国内外の子供たちとの交流や学習活動も可能性がひろがる。

河野町長

昔から、教育は国家百年の大計と表現され教育基本法の冒頭にも国の未来を切り開くのは教育であると明記されている。ま

現在モデル的に明神小学校にタブレットを配置している。新年度から町内全校に配置していく。

河野町長

先日静岡県の川根本町を視察したが教育委員会内部に管理主事をおいていた。具体的に教育を進めていくには、指導主事や教員の資格を有する指導主

事や管理主事を配置することは理想的と考えるがどうか。

県内でも3町が指導主事を配置している。指導主事は現場の教員の中堅以上で指導力のある教員であることや人件費はすべて町が負担すること等、財政の問題もあり教育施策を進める中でメリットも承知しているが踏み切れない。今後検討の余地はあるうかと思う。

日野教育長

ICT教育やアクティブラーニングなど具体的な指導をするには、専門性をもった人材を配置し充実させる必要があると思うが。

多岐にわたり複雑化してくる教育のプログラムも考慮し久万高原町の教育を皆さんと共に検討したい。

大規模校、小規模校を問わず同じ教育を受けられる体制は整備すべきであり、子供たちをしつかり教育していく責任は町にあるうと考える。財政の問題もあろうが教育委員会の充実を具体的に進めていただきたい。

どこに住んでいようとできる日本の教育環境は高いレベルにある。グローバル化の時代まさにICT教育は大事な教育であり議員ご指摘の内容も含めて検討させていただきます。

河野町長

一般質問(5)



中野克仁 議員

学校教育施策からのまちづくりを問う

**問** 学校教育施策も定住、移住等、まちづくりに大きな関わりと役割があるという観点から質問する。定住、移住を積極的に進めるためには、上浮六高校のみならず、小中学校の存続も大きな課題である。そのような中、学校関連予算からは、生徒数確保等の積極的な考えが伝わってこない。また、報道等では、いじめ等の問題に対して各教育委員会の対応が適切でないと思うケースが見受けられる。生徒数確保と問題解決の意識はあるのか。もしあるのなら、なぜ予算に反映されていないのか。また、様々な問題に対して対応できる体制は整えているのか、教育長に伺いたい。

**答** 生徒数確保については、何が何でも確保し、各小中学校を存続させたい強い気持ちを持っている。

町の移住、定住施策に教育委員会として出来る事は積極的に協力していきたい。若者を引き付ける要因のひとつは、子育て環境の充実だ。保育園が遠く利用できない方のため幼稚園の預かり保育を、平成30年度に川下4園で実施できるように準備を進めている。

いじめ問題対策としては、いじめ防止対策基本方針を教育委員会と学校で策定し取り組んでいる。問題を早く発見し、迅速に対応する事、普段から学校と児童・生徒および保護者との信頼関係を構築する事が最も重要だと考えている。

日野教育長

**問** 昨年9月議会の中で、事業内容が変更されていた事を教育長が認識されていなかった、経過、結果を把握できていなかった事が判明した。ゆゆしき事態だ。危機管理、問題への対応は、普段からの現状認識を通して、予防する事だと思いが、それにはきめ細かな現場管理が必要であり、現状では到底、困難だと思っている。教育長の任命権者である町長に、組織、体制の見直しを含め考えを伺いたい。

最近では、教育に関してもスピードある対応を迫られる課題も発生している。教育委員会ともしっかりと議論しながら、指摘されたような事が起こらないように、しっかりと注視していきたい。

河野町長

**答** 多くの町有施設の維持管理等で苦慮しておる中で、シングル子育て世代の誘致を移住生活支援で掲げて、看護・介護就労者及び児童・生徒の確保をめざしているようだが、住の部分で川下地区の住宅に充てる。旧柳谷中学校寮を、先ほどのシングル世帯の夜勤時の子供預かり施設であるとか、またはふるさと留学施設としての利用。また、通学バスを、一般の人も足として使えないのか。そういう、意見も言わせていただいたうえで教育行政施策、町長は、何かお考えがあるか。

**問**

定住・移住をすすめるための学校教育施策、まず、久万高原町の学校教育の魅力在全国に発信していく事が肝要だ。瀟洒な木造校舎、ひとりひとりに目が行き届き、子供の持つ個性や能力を十分に伸ばす事ができる。子育ての楽園とも呼べる久万高原町の素晴らしさを発信してまい

**答**

資料整理に時間がかかった事と、全議員が集まる機会を捉えられなかったこちらのミスだ。事務局長

**答**

資料は後で見ても精査させていたたく。とにかく、教育行政の中でも、本当に必要なことは、子供たちの為、地域社会教育の為、なるたけ財政改革ができるところはきちっと精査してやっていただく事も、教育長の務めであると思うが、今後さらに気をつけて教育行政を進めていきたいという思いがあるならばお聞かせいただきたい。

**問**

議会から、何度も、小中学校のパソコンに係る経費について契約内容等資料の提出を要望しているが一向に返答がない。できない理由が何かあるのか。

**問**

今までより以上に、関心を向けてしっかりと見届けていきたい。

**答**

日野教育長



一般質問(6)



岡部史夫議員

四国遍路文化世界遺産化への取組み

**問** 2010年に四国内の経済団体・県・市町村等で四国遍路を世界遺産登録推進に向けた評議会が設立されたが、当町の取組みを伺いたい。

**答** 文化庁との協議において、遍路道は市町が保護措置を行う役割とし、町内史跡・遍路道について国の文化財指定に取り組んでいく。受入態勢の整備については、遍路道沿いの公衆トイレの洋式化や案内表示の多言語化に取り組んでいる。畑野川ではお接待所が設けられて巡礼者へのおもてなしに取り組んでいる。

河野町長

**問** 四国の道や遍路道の管理・運営の取組み状況

を伺いたい。

**答** 四国の道は、県からの管理委託を受け、年間50万円程度の予算にて休憩所・トイレ清掃・草刈等を行っているが、十分管理ができていない箇所もある。

ふるさと創生課長

**答** 里道等のルートについては、管理ができていない箇所もある。

教育委員会事務局長

**問** 管理不十分な遍路道が多く、お遍路さんが困っている状況や改善されない現状の対応は。

**答** 遍路道の管理は、世界遺産に向けて重要なことである。当町も2ヶ所の札所があることから、今後、補正予算の対応を含め庁内で徹底していく。

河野町長

**問** お遍路文化によって、町内の宿泊施設等を含め経済効果があると共に、四国四県共通の文化景観・観光資源であり、畑野川地域のお接待のおもてなし等、多くの方の善意で遍路文化が支えられている。今後、町を挙げての取組みが必要ではないか。

**答** 外国の方のお遍路も増えているが、お迎えする姿勢をしつかり整える等、町としての役目を果たしていきたい。

河野町長

29年度林業施策の推進状況

**問** 林業成長産業化地域創出モデル事業の取組み状況・進捗について伺う。

**答** モデル事業では5点の施策施策を考えている。1点目は、ICTシステムで林業事業体と活性化センターを施業管理連携、2点目は、原木流通改革として森林組合と久万木材市場が特定原木の契約販売開始、3点目は、製材業と建築業連携による次世代木造住宅の開発及び久万材利用者登録制度による組織化、4点目は、木材の輸出として中国家具内装メーカーへの輸出開始、5点目は、担い手確保策として林業経営講座の実施等、成果を踏まえながら鋭意取り組んでいる。

河野町長

**問** 活性化プロジェクト事業は町長が期待していた率に達していない。町内の取扱量の激減や中心的役割を担う森林組合への影響が心配である。

今後、素材生産量UPに向けた町有林の有効活用や取扱事業量の回復の見通しは。

**答** 町有林の活用については、森林組合からの要望があれば検討する。30年度からの森林組合5ヶ年経営計画において、町と一緒に事業量回復に向けた計画を立てていく。

林業戦略課長

**問** 林業施策には、いまだ目新しさが感じられるが、今一度、画竜点睛を欠くことのないよう、施策の再点検をすべきである。例えば、林業技術専門学校を検討、女性の林業経営参加促進支援プラン、木質バイオマス燃料による公共施設のボイラー・ストーブ整備、マキを使った家庭用小型バイオマス事業等を取り組む考えはないか。

**答** バイオマス発電については、材料確保の問題やイニシャルコストの関係でまだまだ課題が多いようであるが、その中でも、給湯バイオマスボイラーについては検討していきたい。できれば役場や病院の暖房用に対応できないか研究していきたい。

河野町長

一般質問(7)



土居通秀議員

危機管理について

問

伊方原発事故発生の際には570ガルから650ガルに、県から更なる対策を求められ1000ガルに引き上げられた、熊本地震では震度7で1580ガル、伊方原発基準の1.5倍である。原発事故を想定した計画を地域防災計画に入れるべきではないか。

答

UPZ、緊急時防護措置、基準区域外とされ、県の広域避難計画において、本町の町外非難の位置付けはされていない。緊急事態が発生した際は愛媛県広域避難計画原子力災害時における円滑な避難対応の計画に基づきP

問

伊方原発から久万高原町は真東に位置し60キロの距離点にある。偏西風に乗って、放射能汚染が懸念される、放射能防護対策として防護用具の購入、高感度の放射能検知器など、行政あるいは個人でも備えることが可能ではないか。簡単にできる防護対策とか被ばくをしないための基本的なことは、地域防災計画の中に入れて、日頃からの計画の中に入れ込むことはできないか。

答

消防ではNBC災害、核によるもの、生物兵器によるもの、化学兵器によるもの、こういった災害想定のもと、消防庁より貸与品を預かっており、放射能の問題については、個人線量計8個、空間線量計2個、表面汚染検

問

想定外ということとは、責任逃れだと思う、想定漏れのないよう努めていたいただきたい、一人1人の人命を大切に扱ってくださるような、地域防災計画であってほしいと思うが。

答

県の方針が示されている中で直ちに防災計画に取り込むことは難しい、他の市町の動向、県とも再度やり取りしながらお答えできる時が来ると思う、時間をいた

PAZ：発電所から概ね半径5キロ圏  
UPZ：概ね半径30キロ圏



- 発電所から概ね5 km圏内  
PAZ (予防的防護措置を準備する区域)  
放射性物質の放出前の段階から、予防的に避難等の防護措置を実施する区域  
1町(伊方町)
- PAZ圏以西の佐田岬半島地域  
予防避難エリア  
PAZ圏に準じた避難等の防護措置を準備する区域  
1町(伊方町)
- 発電所から概ね5~30 km圏内  
UPZ (緊急防護措置を準備する区域)  
事故が拡大する可能性を踏まえ、避難や屋内退避等の防護措置を準備する区域  
5市3町(伊方町、八幡浜市、大洲市、西予市、宇和島市、伊予市、内子町、上隴町(山口県))

発議1件を可決、議案44件の提案理由の説明を受け、内、32件を各常任委員会に付託し、他を可決した。諮問1件では、人権擁護委員の推薦があり、これを適任と答申した。

また、「町交通対策等に関する特別委員会審査結果報告」、「情報通信基盤整備事業推進特別委員会審査結果報告」が行われた。

**質疑**

**報告第29号 平成30年度久万高原町一般会計予算について**

**皿ヶ峰公衆トイレ負担金について**

**中野議員**

皿ヶ峰公衆トイレに係る東温市の負担金については、東温市議会でも質疑があったが、その結果は把握しているか。

**ふるさと創生課長**

東温市側は、久万高原町と協力して、つくっていききたい趣旨の答弁をしたようだ。

**民生児童委員活動の見直しは  
中野議員**

民生児童委員の活動費は例年並みだが、活動について、高齢化等でなり手がいない、活動が広範囲などの課題もあり、新しい形での活動の見直し等、久万高原町なりのやり方を検討していただきたいと提案しているが検討したのか。

**保健福祉課長**

30年度については、県の基準に基づいて報酬の額を計上している。31年度については検討していく。

**地域に即した消防団の形を  
中野議員**

ある自治体では、消防団OBに非常時に出ていただくことで、消防団を補う形をとられているときいた。わが町では、消防団員として、高齢者の方にも出ていただいているが、団員数にかたくなにこだわらず、地域に即した形を模索してみてもどうか。

**消防長**

OBの方に、災害の内容によつて出動してもらおうのは、機能別消防団員のうちの一つの要領だと考える。久万高原町では、団員の定年制が無いので、80近くの方もいる。可能な限り残ってもらっている状況なので、そこところまで配慮できない状況だ。

**学校との連携はできているか  
熊代議員**

小学校のパソコンとタブレットトリース料を計上しているが、学校と連携して設備等の希望も聞き取りし、打ち合わせしているか。

**教育委員会事務局長**

これから、いろいろな会議等経てもっと綿密な相談になる。

**移住支援事業の内容について  
大原議員**

シングル子育て家庭移住支援事業110万円、具体的な事業内容を聞きたい。

**ふるさと創生課長**

シングル子育て家庭の方に、久万高原町で働いて、定住してもらうことを目標とした事業だ。今年度は募集、現地説明会を予定している。

**議案第30号 平成30年度国民健康保険事業特別会計予算**

**国保料金はどうなる  
中川議員**

30年から、財政運営主体が、町から県に移行されるが、平均的な保険料の推移はどのように計算しているか。

**住民課長**

県の標準保険料率に基づく、と、本来、支払うべき保険料は、

10万円越えと認識している。それに対して、町の補助、県の交付金等で、それが安く抑えられている仕組みになっている。

**中川議員**

納める保険料が、県への移行によつて大きく上がったという事はないか。

**住民課長**

今回の改正で、資産割を4分の1減らしたことで、保険料は若干安くなると考えている。

**町交通対策等に関する  
特別委員会審査結果報告**

当委員会では、平成29年5月から、情報収集を行うなど、町民の足について調査研究、協議を行ってきたが、久万高原町地域交通対策協議会が平成30年1月設置され問題解決に向けた協議の場ができたので廃止する。(概要)

**情報通信基盤整備事業推進  
特別委員会審査結果報告**

地域からの光ファイバー網の整備要望を受け平成29年6月から数回、協議検討し町に、早急な対応を求めてきた。結果、来年度予算化され、整備実現の運びとなり、目的を達成したので解散する。(概要)

総務文教厚生常任委員会

議案第15号「久万高原町消防団に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

消防団員に支給する費用弁償を活動時間単位での支給とする見直しを図るため、条例の一部を改正するもの。

審議

**大原** 今回の改正で4時間以上4000円と改善されたが、上限を設定し加算した方がいいのではないか。

**消防長** 出動手当の区分なので他市町とのバランスも考慮し倍額とするよう検討した。

**大原** 訓練出動費について、春と秋に防禦訓練を行っているが1件分の費用弁償である。入団促進の為に訓練等が出た場合には最低限の費用弁償はするべきでは。

**消防長** 教育訓練では4300円、通常費用弁償6600円それぞれ目的に合わせて支給しており、自分の仕事における費用弁償には程遠いが、条例に基づき年報酬を支給したうえでの出動手当という面

でご理解いただきたい。



ポンプ操法

**瀧野** 伊方原発に何かあったときに、放射能の影響を受ける地域なのか、危機管理についての体制はどうか重要であるが。

**危機管理室長** 県の防災広域計画などにより、放射能被害はないものと感じていた、想定以上のこともあるので、今後、充分に研究して、整備も必要であると考えている。

**中川** 部に配備されているポンプ車、見直しについて協議されたが、協議結果についてお答えいただきたい。

**消防長** 49台のポンプ車と積載車がある、管理の難しい部もあり3か所のポンプ車・積載車の配置について協議し、適正管理するため協議を行った、地元消防団の理解も得られたので4月から3台の積載車を減らす方向で考えている。

議案第18号「平成29年度久万高原町一般会計補正予算(第7号)」

予算の補正額は、歳入歳出ともに2億6848万円を減額し総額は、103億574万円

歳入

地方消費税交付金

地方消費税交付金1500万円の減額

国庫支出金

公共土木施設災害復旧費国庫負担金5067万円の減額  
林業成長産業化地域創出モデル事業費補助金2000万円  
県支出金  
農地農業用施設災害復旧費補助金4474万円の減額

繰入金

環境保全基金繰入金4217万円の減額

**町債**  
補助災害復旧事業債4550万円の減額

歳出

**総務費**  
地域おこし協力隊の非常勤報酬等505万円の減額  
社会保障・番号制度システム整備業務委託料339万円の減額

民生費

後期高齢者医療保険事業特別会計繰出金284万円の減額

消防費

消防団の報酬や費用弁償等401万円の減額

防災情報伝達システム整備工事実施計画委託料1700万円の減額

教育費

学校教育施設整備基金積立金1億2600万円

審議

**瀧野** 施設修繕の要望への対応の遅れはないのか。

教育委員会事務局長

日々色々な情報をもらい、現場との連携は密にとっている。

**瀧野** 現場の問題について教育委員会はどのように対応し、

收拾しているのか。

**日野教育長** 事故報告をすぐ  
に上げ、事故の状況を把握し  
対応を指示したり協議をした  
り進めている。将来のある子  
供たちなので配慮を十分に  
して、現場とよく相談して、迅速  
に対応していく。

**議案第29号「平成30年度久万  
高原町一般会計予算」**

予算の総額は、歳入歳出とも  
に8億2939万円前年度予  
算額と比べ9億1904万円  
の減率にして10.3%の減  
額予算である。

**歳入**

**町債 8億5430万円**

町民税2億5908万円  
固定資産税5億2141万円  
軽自動車税3233万円  
町たばこ税4057万円

**地方交付税 43億7000万  
円**  
普通交付税及び特別交付税

**分担金及び負担金 4146  
万円**

農林土木事業や公共土木事業  
の分担金538万円  
高齢者福祉費負担金3025  
万円

**使用料及び手数料 1億52  
53万円**

美術館や山岳博物館、天体観  
測館の入館料563万円  
町営住宅使用料8651万円  
し尿処理手数料1475万円  
指定ごみ袋販売手数料139  
9万円

**国庫支出金 4億6407万  
円**

国民健康保険基金安定事業費  
国庫負担金1180万円  
障害者福祉費国庫負担金1億  
4463万円  
児童手当に係る児童措置費国  
庫負担金5028万円  
森林の除間伐や原木流通支援  
のための美しい森林づくり基  
盤整備交付金7400万円

**県支出金 5億2322万円**

国民健康保険や後期高齢者医  
療保険基金安定事業費負担金  
9619万円  
障害者福祉費県負担金723  
1万円  
新規就業総合支援事業費県補  
助金2556万円  
森林整備地域活動支援交付金  
県補助金2217万円  
林業成長産業化地域創出モデ  
ル事業費県補助金1000万  
円  
林業土木費県補助金4750  
万円

**財産収入 4098万円**

土地や建物の町有財産の貸付  
収入2189万円  
町有林の間伐収入等567万  
円

**寄付金 250万円**

故郷久万高原応援寄付金

**繰入金 5億2360万円**

財政調整基金繰入金3億71  
00万円  
学校教育施設整備基金繰入金  
5613万円  
環境保全基金繰入金2002  
万円  
消防基金繰入金1770万円

**繰越金 1億円**

**諸収入 1億4800万円**

学校給食費収入3323万円  
市町交付金、基金交付金11  
86万円  
財団等助成金1707万円

**町債 5億4200万円**

県営道路事業負担金6620  
万円  
町道整備事業2260万円  
林道開設・改良事業3380  
万円  
自治会活動助成や子供医療  
費助成、生活通学交通対策、  
上浮穴高校振興対策事業等  
1億4240万円

J-ALERT新型受信機整  
備事業1500万円  
臨時財政対策債2億円

**審議**

**瀧野** 主要な収入が相対的に  
減となっている、財政的な危  
機管理がされていない。防災  
無線や光通信の整備に大きな  
金額がかかる。財政的にきち  
んとした計画の中でされてい  
るか。

**総務課長**

実質公債比率の改  
善で邁進してきた。借入金の  
運用についても、財政指標の  
改善に努め毎年10億円以内と  
いう線を引き行っており、平  
均的にはそれをクリアできる  
ように行う。大型の事業につ  
いては、各課に紹介をかけ、中  
長期の財政見通しを議会にも  
示しながら見極めの作業を  
行っている。30年度から行政  
改革について、副町長をトッ  
プに具体的に進めて行きたい。  
今後の行財政改革の中で重要  
になるのは現在の老朽化して  
いる町有施設について、統廃  
合、除却、更新、などが財政負  
担に大きいのしかかってくる。

**大原**

県の支出金で、センサ  
スや統計データの委託金が来  
ている。町は県から委託され  
た時にどのようなデータ収集

をしているのか。

**総務課長** 県から調査の委託金があれば、町で調査員を選任し、証を交付し、それを取りまとめるもの、全国的な調査であり、マニュアルも順守している。調査の正確性は高いものと思っている。

**高橋** 道の駅新体制となることなどから不安の声もあった。主役は出荷者の皆さんであり、新体制についての所見を。

**河野町長** 4月1日から新体制に移行する。経営母体は変わるが、出荷者の育成、生きがいづくりや経営的な裏付けも、これまで以上にとれるようにと考えている。

**主な歳出(前年度と比較して)**  
**衛生費**

し尿処理施設延命工事の減により1億1114万円の減額

**農林水産業費**

地域資源活用総合交流促進施設事業費の減額等により3億242万円の減額

**教育費**

学校給食費3億7515万円等の減額により4億92万円の減額

**公債費**

元金償還金等で1億481万円の減額

**消防費**

消防団員の活動服・ヘルメット等の更新により1981万円の増



面河支所

**審議**  
**総務課関係**

**滝野** 支所費が倍ぐらいになっているが、それぞれの支所長はどのように活用されるつもりか。

**面河支所長** 現在1名を雇い入れており、地域住民の望む目的を検討している。4月1日をもって地域運営協議会を立ち上げる。総務と調整しながら進めて行きたい。

**美川支所長** 地域支援員は4月に募集し、地域を巡回して地域おこしのきっかけづくりを目指している。最初は地域を限定するような形で取り組む。



美川支所

**柳谷支所長**

美川同様に4月1日から公募をかけ集落支援員を雇う。地域運営協議会を早く立ち上げ地域の声を聴き、地域づくりに反映して行きたい。



柳谷支所

**滝野** NTTのサーバーの問題はいつ解消されるのか。

**総務課長** 以前にも指摘を受け、役場内でも検討しているが、現在のところ、庁舎内に移転することは耐震や電源の問題や1階部分には設置できないことなどの課題がある。基幹系はクラウドで行っているが、バックアップには自前のサーバーが必要であり、戸籍や住民のデータのクラウド利用も難しい。

**滝野** 決算特別委員会で検討されたものが予算に反映されているかどうか、総合計画や総合戦略の流れも見えにく

**総務課長** 課長会でも対応したところではあるが、十分ではなかった。今後、改善していきたい。

**滝野** 「予算の執行がうまくスムーズに行えている」と町民に知らせることができるような議会運営を考えて行かなくてはならない。議会報告会で町民とのコミュニケーションを取ってはいるが、そのあたりがうまくいけば、いろいろな問題も解決すると思う。そのような流れや企画を総務課長のところで作ってほしい。

**総務課長** 町づくりの方向性を示すという大きな柱と、町民の皆さんの困りごとや将来に対する不安をどう解消していくかという2本の柱がある。支所長と集落支援員が町民の声を集め、我々が連携を取ってやっていく。総務課がキーとなって進めて行きたい。

**保健福祉課**  
**滝野** 高齢者支援ハウスの指定管理料に変動が大きい。指定管理はどのように変わってきたのか。

**保健福祉課長** 平成26年の4月に更新する際、入所者が満所であるため一人の臨時職員を配置したため指定管理料を上げている。

**教育委員会**  
**大原** 上高の寮の整備を平成31年度末までに整備するということになってはいるが、予算計上はされていないようだが。

**河野町長** 寮を整備して、高校生数を確保していく方針には変わりない。規模や町内施設の有効利用など検討している。

**中川** 保育園がない川下での幼稚園の延長保育の詳細はどうなっているのか。

**教育委員会事務局長** 川下の4園で2時から5時に実施する予定である。4月に募集、5月を目途にスタートしたい。

**熊代** 中学校のパソコンが故障しており、持ち帰りで修理

を行っているが、代替え機の要請などを教育委員会は行っているのか。依頼があった際にどう対応しているのか。

**教育委員会事務局長** 持ち帰りなど必要な際は代替えを用意して対応するという協議が行われている。トラブルが起きた際には学校側から直接、業者へ依頼するなどもあり、その顛末を共有できない状況も発生していたので、今後は気を付けるようにする。

**滝野** 小学校でプログラミングに取り組みなくてはならない。学校教育も大きく変化する。議会も研修に行き、その都度提案してきた。購入の時点からきちんと精査することが必要。

**総務課長** 時代時代でパソコンに求めるものが変化している。これまではパソコンの操作が中心の教育であったが、今後はICTの活用の在り方が変わってくる。物理的なものではなく、物理的なのもまだまだ本町は意識が甘いと実感した。それぞれの専門部署を総務課がコーディネートする。

**川崎** 各学校サイドで同じようなレベルで、教育できるように、対応が出来ているのか。  
**日野教育長** タブレットの導入については、明神小学校で先駆的な取り組みをして、各小中学校に広げていく。そこにタイムラグが生じる。デスクトップパソコンについては、ほぼ一律の質で行われていると捉えている。今後も、学校格差のないように努めて行きたい。



産業建設常任委員会

議案第4号

久万高原町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について

原案のとおり可決

議案第13号

久万高原町新規就農促進条例の一部を改正する条例の制定について  
原案のとおり可決

議案第18号

平成29年度一般会計補正予算について

ふるさと創生課関連

日野委員

JRバスのラッピングは70万くらいであったか。

課長 費用は70万で広告料についてはJRがサービスで行っている。

日野委員

伊予鉄の市内電車にラッピングできないか。

課長 30年度予算で若干の広告費を計上しているので委員提案も含めて広告の仕組みを考える。

日野委員

移住定住についてはどの町も取り組んでいるが、

本町の特徴や有利性が見えない。仕事と住宅の生活基盤が整っていないのが要因だ。応募の中で林業等に就職した際の収入の目安も明示しているか。

課長

職業、空き家バンクについてはホームページ等で紹介しているがうまくマッチングしていない部分もある。移住希望者はいても中心部での居住希望が多く難しい面はあるが、移住に関して子育環境など多方面から組み立てていく必要がある。

日野委員

空き家調査は完了したと思うが、旧久万町内でシェアハウスを実行できそうなどころはあるか。

課長

支援員2名で調査している。お試し住宅も増やしていきたいし、シェアハウスも検討していきたい。

日野委員

移住者用の住宅改修事業補助金を計上しているが活用できないのか。

課長

移住者用空き家住宅補助事業については個人が対象となるのでお試し住宅でやっていくことになる。

日野委員

移住定住は急務の課題であり仕事と家屋の充実を早急に取り組んでいただきたい。

中野委員

国民宿舍面河解体工事5500万円減額について説明を求めます。

課長

当初予定の金額より大きな金額がかかることが判明したこと、他の利用も考慮の上いったん減額した。

中野委員

当初より費用が大きくなった経緯と判明した経緯の説明を。

課長

予算を組む際の見積もり費用は発生していないが、その後先方との連絡不十分によりこのような事態を招いたこと、複数年で計画し初年度にきつちりした設計、費用算出が必要であったこと反省している。

中野委員

経緯があやふやだが業者は同一か。

課長 最初に見積もり依頼を行った業者とは異なる業者だった。

中野委員

業者を変更した理由は。

課長

最初の業者は予算計上額を見積もるための業者であり、その後5社の入札で設計管理業者を決定した。

中野委員

設計入札の順序からいくと議会に報告して当たり前。5500万円という予算が議会を通っている。簡単に減額するのでなく最初と入札後の見積書を提出いただき

たい。

提出する。

瀧野委員

再発防止の上でも問題はどこにあったか検証すること。

課長

入札の経緯については再度検証する。

農業戦略課関連

日野委員

儲かる農業の足掛かりとなる農業公社の体質強化を早急に定めていただきたい。視察に行った京都においても放棄地対策に取り組んでいた。地域に合った農業の在り方が大事であり、道の駅への出荷割合も含めて指針を出せる指導員の育成が必要だ。農業公社の指導体制を確立し新規作物の導入課題については実験を重ねていただきたい。

課長

委員ご指摘のとおりであり、新しい作物の導入については農業指導班と考えている。道の駅での売れ筋をみても久万高原町らしい作物が売れている。稲作が過渡期を迎えた今、水田を利用した経費のかからない露地栽培を推進したい。その核となるのが農業公園であり懸命に取り組んでいく。

日野委員

農業公社の活用により久万高原町の農業を活性化



化していただきたいが、広大な面積の本町では地域により土壌も異なる。土壌調査を実施して地域の特性を農業公社として把握し、適地適作を推進できないか。

**課長** トマト栽培にしても技術はもちろんだが最後は土壌だと思う。専門分野になるが県の農業指導班に確認の上、新規就農者等には必要な情報であり開示に努める。

**林業戦略課関係**

**日野委員** 森林環境税の交付等明い兆しもある。先般京都の視察をしたが北山杉で有名な北山地区においても林業加工関連の業者が減少しているとのことだった。京都府全体の素材搬出量が年間20万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>に対して久万高原町だけで17万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>出しているにもかかわらず、豊かさを実感できないのはどこに原因があるか意見を聞きたい。

**課長** 昔に比べると原木価格が大きく下がっており林家の手元に残らないことから林家も伐採を控えるようになる。現在モデル事業においていかにして高く売れるかを目標に取り組んでいる。「林業日本一のまちづくり」という命題を

掲げており、林家の所得向上を目指していく。  
原案のとおり可決

**議案第23号**  
**29年度農業集落排水事業特別会計補正予算**  
原案のとおり可決

**議案第24号**  
**29年度公共下水道事業特別会計補正予算**  
原案のとおり可決

**議案第25号**  
**29年度浄化槽事業特別会計補正予算**  
原案のとおり可決

**議案第26号**  
**凶荒予備事業特別会計補正予算**  
原案のとおり可決

**議案第29号**  
**平成30年度一般会計予算**

**中野委員** 地方創生に対する交付金を利用するための計画を立てていると聞いているが、自治会活用助成金事業に過疎対策事業債を当てている。地域の町づくりプランを立てた上、交付金で事業推進すべきであり、安易な起債(借金)は

使わないように。  
**課長** 県のランドデザインのようなものを作成し、町の計画を盛り込んでいくスタンスで取り組んでいる。委員ご指摘は重要であり参考にさせていただきます。

**ふるさと創生課関係**

**土居委員** 地域おこし協力隊員は現在まで何名採用し、何名残っているか。  
**課長** 8名採用し5名残っている。

**土居委員** 全国平均では6割の方が定住していると聞くが、辞めて帰られた原因は何か。  
**課長** 個々により違うが理想とのギャップもあるようだ。

**土居委員** 国の費用であり定住が目的の一つだと思う。採用時の面接等を通じ本人の希望を聞き、能力を地域に生かせる対応を。  
**課長** 日頃からのコミュニケーションを含めて対応していく。

**瀧野委員** 大分県の竹田市を視察したが50名もの協力隊員により多方面に好転していた。メンタルヘルスの面が原因の一つと思うがコミュニケーションについて誰かが取り組んでいるか。

**課長** 1か月に1度ミーティングを実施し交流会、懇親会も定期的に開催している。

**瀧野委員** 地域おこし協力隊員が10名と言わず、20名、30名と来ていただける町づくりをすべきだ。

**玉井委員** 四国カルスト姫鶴グラウンド整備が予算化されているが、使用目的はあるのか、維持管理はどこが行っているのか。  
**課長** 一昨年高地トレニングのために整備してきた。キャンプの利用が多く傷んできたので予算計上した。管理は柳谷産業開発公社である。

**玉井委員** 以前、明治大学の白銀荘での高地合宿を検討したが、姫鶴荘の方が適しているということなので姫鶴荘を使用した。その後我々に報告がない。

**課長** 四国内の高校、大学に案内したところ反響もあった。高地トレーニング以外でも来客は有り、それらを含めて町の観光計画を作りたい。

**瀧野委員** 美術館運営協議会に出席した。議論の中で、意見を言っても中々実施されないうという声もあるようだ。入館者数を見ても大変な事業であり3館が協力し取り組んでもらわなければならない中、

運営協議会がそのような状況では困る。取り組む姿勢は持っているのか。

**課長** 取り組んでいく。  
**瀧野委員** どのように取り組むのか。

**課長** まず看板の移転については早速取り組む。通りから見やすい位置に設置する。町のホームページのトップページに3館の入り口を設けた。美術館については入館者の増加を視野にミュージアムグループ、観光等と連携しながらPRに努めていく。

**瀧野委員** 産業振興支援事業、商工会活動など補助金の余ったものは返納しなくていいのか。

**課長** 事業内容によっては返納していただくことになっている。

**瀧野委員** 補助金はすべての補助金において余れば返納すべきではないのか。

**課長** 余った場合や事業費を下回った場合は返納する必要はある。

**瀧野委員** 補助金についても、今後は検討しながら減額をしていく時期にあるが意外と裕福な補助金を出している。そろそろ役場も体質を見直し整理整頓すべきである。  
**佐藤課長** 補助金の性格とし

て大きく2つある。実績に基づく実績補助と、団体の運営に関する運営補助である。ご指摘いただいている団体の運営補助については、以前から指摘も受けており当初予算編成の段階から各団体の決算書の提出を求め、補助金額の決定を行っていくよう役場全体で取り組んでいる。

**瀧野委員** 国民宿舎古岩屋荘の修繕は何か。

**課長** トイレの天井と配管の修繕である。

**瀧野委員** ふるさと旅行村の指定管理料はいくらか。

**課長** 年間350万である。

**瀧野委員** 観光協会のホームページ費用が予算に上がっているが、観光協会に資金はないのか。

**課長** 確認後報告する。

**瀧野委員** 国の補助事業で面河溪再開発とあるが何か大きな事業を予定しているのか。

**課長** 大きな事業というのではなく、面河溪本来の自然の魅力を活かし名勝地としてどのようにしていくかという費用である。

**瀧野委員** 総合計画など具体的な計画がされていない。

**課長** 設計料とかの予算ではなく、これからどう生かすかという業務委託料である。

**瀧野委員** 予算についてはそれなりの目的のもと事業をやるべきだが具体的にはどのようなことか。

**課長** ホームページの作成や、サイクルマップの作製を予定している。

**瀧野委員** 根拠があつての事業なのか。きちんとした予算の執行をしてほしい。

**課長** 執行する。

**中野委員** ふれあいロードの修繕費は具体的に何か。

**課長** 設計費である。

**中野委員** 石鎚ヒルクライム事業について、現在スカイラインは通行止めになっているが復旧はどうか。

**課長** できる限り早期の復旧を県に要望している。

### 環境整備課関連

**瀧野委員** ゴミ袋の無料化についての検討は。

**河野町長** 住民が快適な生活をしていかなければならない。要望があつたので今後検討していく。

**瀧野委員** ゴミ袋の有料化はいつからか。

**課長** 平成24年頃からである。1年後に一部値下げしたが、基本的には受益者負担の考え方で行っている。

**河野町長** ゴミを出さないゼロエミッション社会を目指している。

### 農業戦略課関連

**瀧野委員** 認定農業者の人数や売り上げの把握はできているか。

**課長** 認定農業者数は102名である。売り上げについては確認後報告する。

**瀧野委員** 時代が変わる中、全町的な計画ができていくか。

**課長** 農業公園だけでなく農業経営者、認定農業者それから町の農業自体がどうなっていくかということも考えなくてはならない。

**瀧野委員** 住んでいる人のための予算を認識していただきたい。

**岡部委員** 今年度から生産調整廃止。国の施策、飼料米への転作助成金などにどのような取り組んでいるか。

**課長** 限られた予算の中で効率的にやっていくこと、国の方向、国の施策に沿って事業を行うことが重要だと思っている。

**岡部委員** 30年度予定されている飼料米の作付面積と全体の耕作面積に対する割合は。

**課長** 作付面積は462ヘクタールであり、飼料米については今のところない。

**岡部委員** 6次化産業に関する予算が157万円計上されているがどのような事業か。

**課長** 加工品の施策に60万円、加工品の販売14万円、伝統加工品のブランド化コンテストに6万円、リーフレット、ポスター等6万円作業部隊の活動費71万となっている。

**岡部委員** これまでもコンテスト等の取り組みは行われたが、結果としてそれが今どうなっているか。コンテストを実施しただけになっていないか。本当に6次化産業に取り組んでいく気構えがあるのか。必要であればアドバイザーの設置等、本腰を入れてやらなければ予算がもつたいない。

**河野町長** 今までのように作って加工して売るだけでなく、自ら販売していく等の方向付けが必要である。コンテストの商品化も中々利益に結び付かないが方向性としては間違っていないと認識する。もう一歩踏み出した戦略ができるよう努力する。

**岡部委員** そろそろ結果を出さないと住民に説明ができない。町長自らが商品化への固い決意を示していただきたい。

**河野町長** 私はもちろん関係する皆さんもその意識で取り組んでいる。どうにかしなければならぬ気持ち十分に認識している。

**岡部委員** 気持ちだけでなく結果を約束していただきたい。

**河野町長** 結果を出せるよう鋭意努力する。

**林業戦略課関連**

**中野委員** 先日県で行われた鳥獣害研修の参加状況と内容は、**課長** 町からは担当の係が1名参加した。内容については確認の上報告する。

**岡部委員** 杉の赤枯れ病の被害に遭うと材価が四分の1から五分の1と言われている。愛媛県にもこの苗が入っていると聞くが把握しているか。**課長** 県からそういった情報は聞いていないが確認して回答する。

**岡部委員** 国や県の補助への継ぎ足し補助でなく、町単独補助を検討していただかなければ前に進まない。予算に反映させてほしい。

**河野町長** 皆伐については県とも取り組んでいる。担当課、森林組合とも検討しているが再度精査して指導する。

**建設課関連**

**土居委員** 1月臨時議会で除雪費の追加費用が計上されたが、2月の降雪の際、住民から不要な農道も除雪されたと聞いた。農道という表現でいいのか生活道という判断か。

**課長** 生活道を優先している。業者が自主的、好意的に行ってくれているところもある。業者が自主的、好意的に行ってくれているところもある。

**土居委員** 雪質によっては15センチ未満でも除雪が必要なのもある。現実的な判断をお願いする。

**課長** 臨機応変に対応する。**日野委員** 林道に対する補助率は。

**課長** 災害がらみのものは負担金をとっていない。利用の関係での整備は10%の負担金である。

**日野委員** 状態はどのようなものでも補助があるのか。**課長** 全て治すことは難しい。利用の状況により整備する。

**瀧野委員** 高齢化で草刈りが困難となってきた。なにか方法はないか。

**課長** 町づくり懇談会においても各地域で要望があった。補助金でお応えできるものは対応しているが今の段階では地域で担っていたらいい。

のが現状である。原案のとおり可決

**議案第35号 農業集落排水事業特別会計予算**  
原案のとおり可決

**議案第36号 公共下水道事業特別会計予算**  
原案のとおり可決

**議案第37号 浄化槽事業特別会計予算**  
原案のとおり可決

**議案第38号 凶荒予備事業特別会計予算**  
原案のとおり可決

**議案第39号 分譲宅地造成事業特別会計予算**  
原案のとおり可決

**議案第42号 簡易水道事業会計予算**  
原案のとおり可決

**議案第43号 町道路線の認定について**  
原案のとおり可決

**議案第44号 町道路線の変更について**  
原案のとおり可決

議会最終日

平成29年度補正予算・平成30年度一般会計予算他、各常任員会に付託された案件について可決した。また、追加として、工事変更請負契約・損害賠償額に関する専決処分報告5件を受け、平成29年度補正予算、道の駅・ふるさと村の指定管理者の指定を可決し、監査委員の選任に同意、人権擁護委員の推薦に適任と答申した。

また、「ICTでまちづくり」「農業の未来を拓く」「林業を未来につなぐ」三つの特別委員会を立ち上げた。

質疑

議案第18号 平成29年度久万高原町一般会計補正予算(第7号)について

高齢者、障害者等の大雪時の対策は

岡部議員

今年の大雪の中、高齢者、障害者、透析治療、訪問看護が必要な方々がどのような状態だったか。どのような対応が行われたか。

病院事務局長

予約のキャンセルや延期の連絡が多数ある中、受診したいができない申し出があった方については、(父)二峰診療所3名、病院7名)臨時に送迎するなどの対応をした。あけぼのについては、警報、送迎の安全について検討し、今年4日間デイサービスを中止した。訪問看護は問題なかった。

保健福祉課長

介護認定を受けている方は、安否確認をおこない、生活に支障がある場合はヘルパーが訪問し対応している。認定を受けていない方で日頃関わっている心配な高齢者に対しては、地域包括支援対策員、社協職員が連携を取り連絡、訪問をしている。除雪、水道水の配給等、地域からの情報が沢山ありスムーズに対応できた。透析患者の送迎も支障なく対応した。

岡部議員

まだまだ声を届ける事の出来ない方は大勢いると思うが、その声に対しても心配りのあるまちづくりを進めていただきたい。総務課長の所見を伺いたい。

総務課長

今年、2月12日の大雪警報が発令された日は、すぐに災害対策本部を設置し一晩中対応した。あさ、理事者指示で課長会を開き除雪、物資供給等について

て横の連携を取り対応した。今後も雪に限らずこういう対応をしていきたい。

橋梁の点検と補修・維持は

高橋議員

現在の町管理の橋梁の数は、またその中で危険なものに対して工事など対応していればその数は。

建設課長

町管理では、町道236、農道17、林道67合計320橋だ。町道分については30年度で点検終了する。農林道分はすすめている。点検終了後、修繕計画を立て、状況の悪い橋梁の修繕工事を実施する計画だ。現在までに8橋の修繕が終了しているが8700万円程度の費用がかかっている。

高橋議員

災害時、橋梁が落ちた場合は復興には時間もかかり、影響が大きいので早い補強が必要だと思いが、町長の所見を伺いたい。

町長

橋梁のやり替えには、相当な金額が必要となる。それを防ぐ意味で長寿命化計画を立てて費用を抑えているというのが根本にある。議員指摘のとおりなるべく早く進捗できるように思っている。

報告第3号 工事変更請負契約の締結に関する専決処分の報告について

給食センター建設、変更の内容は

田村議員

建設委員会時の金額と、違っているが、内容を説明していただきたい。

教育委員会事務局長

給食センターと中学校の渡り通路の部分で、雪がかなりひどく吹き込み、生徒の通行が確実に危険であろうという場所の手当てが充分でなかったので整備の追加した。

議案第47号 久万高原町交流拠点施設道の駅「天空の郷さんさん」の指定管理者の指定について

新会社の経営権委譲の防衛策は大原議員

(株)さんさん久万高原は、1年目は町出資100%で運営し、2年目以降広く町民のほうから出資を募り運営する方向だと聞いている。

今後、出資を募った場合、一部の株主に株式が集中し経営権が委譲される事があってはならない。防衛策として、どのような手段をとられているのか。

**ふるさと創生課長**

今回、設立した会社の定款において、発行する株式を全て譲渡制限株式とし、これを譲渡し取得するには取締役会の承認が必要とさだめているので、会社にとって不利益となる株式の譲渡は防止できると考えている。また、定款で、募集株式の数の上下限を定める規定を設け特定の出資者に株式が集中しないように配慮している。

**売り上げ、利益の予想は**

**岡部議員**

新会社移行後、1年目、2年目の売り上げの目標と税引き後の予想利益はどのくらい見込んでいるか。

**ふるさと創生課長**

現在の売り上げ、3億8千万円を数年で4億円という希望がある。利益については、初年度1000万円を確保したい。

**岡部議員**

役員報酬はどのくらい想定しているか。

**ふるさと創生課長**

代表取締役は35万円、その他は無報酬だ。

**岡部議員**

経営内容の透明性について町長はどのように考えているか。

**町長**

監査2名で、財政、経営につ

いても目を通してもらおう。また、取締役会以外に組織をつくり、年に2回運営状況等々について諮問いただくよう計画している。

**議案第48号 久万高原町ふるさと村・家族旅行村の指定管理者の指定について**

**指定業者選択の理由は**

**岡部議員**

提案される業者が最適とされる最大の理由は何か。

**ふるさと創生課長**

検討委員会では、厳しい意見もいただいたが、前業者に比べて、宿泊者数を2倍に伸ばしてくるということから、可能性もあるという事で選んだ。

**岡部議員**

いままでの管理において条例上の瑕疵はなかったか。町の為にどう関わってくれるのかという点でしっかりと話し合いながらやってもらわなければならないと思うが。

**ふるさと創生課長**

条例上の瑕疵として、ケビンと宿泊室を従業員に使ったりとかあった。これについては、事前相談、許可という手続きは必要だったと思えば反省している。

また、地元は何らかの効果なりを上げてもらいたいと思っている。

**町の未来を見据えて**

**特別委員会を設置**

これからの、まちづくりの中で、農業、林業、これから整備されるひかり通信網を使つてのまちづくりが重要なポイントであることから、議会でも、それぞれについて特別委員会を立ち上げ、調査、研究すべきとの観点から三つの委員会を設置する事とした。委員会の名称と委員は、以下のとおり。

**ICTでまちづくり**

**特別委員会**

委員長  
副委員長  
委員

川崎 勝弘  
熊代 祐己  
中川 武志  
田村 昭子  
天野 辰晴  
高橋 末廣  
中野 克仁



**農業の未来を拓く**

**特別委員会**

委員長  
副委員長  
委員

日野 明勅  
熊代 祐己  
中川 武志  
土居 通秀  
天野 辰晴  
高橋 末廣



**林業を未来につなぐ**

**特別委員会**

委員長  
副委員長  
委員

岡部 史夫  
川崎 勝弘  
田村 昭子  
玉井 春鬼  
大原 貴明  
中野 克仁

産業建設常任委員会視察研修報告

平成30年2月1日～2月3日の間、京都府内において、農業・林業に関する視察研修を実施した。

一番目の研修先の「(有)山国さきがけセンター」では、農業生産法人として地域農業の担い手としての取組み及び地域の伝統食である、味噌・納豆・餅などの製造販売の取組み状況を視察した。取組みの特徴としては、地域内の農地の借上げや遊休農地の集積を積極的に進めて地域内の耕作放棄地をゼロにした活動や、地域内の農地の継続的な有効活用を図るなどして地域の課題解決に貢献している。又、安全・安心な農作物の生産や6次産業化の推進としての



(有)山国さきがけセンター

「納豆もち」の販売活動には、地域の伝統に対する「自信とほこり」が強く感じられ、地域の方々が、身近な所にあるものを6次産業化されている取組みに、それぞれの地域の可能性を感じた。

二番目の研修先は、林業の取組み研修として、「京都府庁林務課」にて京都府内産の木材利用促進の取組みについて伺った。

府内の林業促進として「森林・林業経営高度化プラン」、「森林・林業経営イノベーション事業」などを展開する中で持ち上がった流通システム構築の課題や、「京都成長型林業構想」の実施および「森の京都構想」として、京都府を一つの工場と捉えた連携・協働による京都府林業の6次産業化に向けての取り組みなど、久万高原町の現状や課題と比較しながら、取組みにおける苦労話などを聞かせていただいた。

特に、府が「成長型林業構想」を策定・実施することにより、森林情報の膨大な蓄積データの双方向通信による高度利用が可能になり、行政・森林所有者・工務店などのシステム利用者における業務効



京都府庁で林業政策研修

率が飛躍的に向上し、その効果は計り知れない等とお話している久万高原町においても、県と協働した森林情報共有化を早急に実現すべきと実感した。

三番目(最終日)の研修先として林業技術人材の育成に取り組んでいる、京都府船井郡京丹波町の京都府立林業大学校にて研修させていただいた。京都府立林業大学校は、これまでの森林・林業教育では期待できなかった「人材育成や林業関係の資格取得」に取組むとして、平成24年に全国で6校目の林業専門大学校として設立された学校で、遠方からの学生を支援するため、独自の指定寮の設置・地元林家の協力を得て学校の近くに現



京都府立林業大学校

地研修現場を設置するなどして、林業技術や林業政策を専門的に学べる体制が、行政の支援や地域ぐるみで構築されており、林業行政職員・森林組合職員・事業体を目指す個人・林業後継者など多くの林業関係者が学びの舎として入学されている。事業体の育成や技術習得を含めた個人林家の後継者不足に苦慮している久万高原町においても一考すべき点が多いと感じた。

今回の研修は、相手方の都合や日程などにより、研修先の選定に苦慮したが、どの研修先においても遠来からの視察に対して、懇切丁寧なる対応をいただいたことに深く感謝し、短時間の研修にも関わらず実りある先進地視察研修を実施することができた。

総務文教厚生常任委員会視察研修報告

(平成30年2月22日～24日)。

静岡県川根本町は公設民営で光通信整備を行い、県内でも、超高速ブロードバンド整備が遅れていたが「町が抱える課題解決のために必要」との考えで整備後の利活用に力を入れていた。

川根本町でも同様に、高齢化、医療体制、若者人口減少、小規模集落点在といった問題を抱えていた。推進する中で特筆すべき点は「産、学、官」による体制を構築している所だ。ICT利活用の組織作りとして、町内有識者8名で検討組織を立ち上げ、庁内に情報政策課を設け、提案実現に取り組んでいた。現在は、教育推進に民間企業へネットワーク3社を導入し、事業提携を結び、町内小中学校生徒全員にタブレット端末を配置、教育委員会にICT支援員を常駐させており、自信とやる気が溢れており、印象的だった。サテライトオフィスの誘致では、現在外資系企業1社だが雇用促進による移住定住、田舎でも仕事ができる事を、町の児童、生徒への意識改革にも繋げていた。将来を見据

えて、「モノ」が、インターネットに繋がるIoT活用も視野に入れ、取り組んでいる事に、町のやる気と勢いを感じた。



川根本町庁舎での研修

農業分野では、「川根茶」で有名なお茶所だが、栽培の衰退と後継者不足が深刻な状況で「経験や勘」で行ってきたが、データ化して確立し、安定した品質のお茶の生産と後継者育成を目指していた。防災については、様々な事象をデータ化し、災害時の行動等に役立てる研究もしていた。医療福祉では、町内の医療機関を光回線で繋ぎ、電子カルテ導入で患者情報の共有化、遠隔診療、テレビ会議など、効率的な形態を目指していた。我が町が学ぶべき点は、川根本町も、先進地に学び真似をしたと説明して頂いたが、先ずは、成功事例を勉強して真似する姿勢を持ちたいと感じた。

次に、株式会社内田洋行で未来の学習空間「フューチャーズクラスルーム」ICT授業体験を研修した。

民間の施設なので、公の目線ではない発想を展開し、体験授業を受けるとバーチャルな世界観に引き込まれていき、模擬授業を担当してくれた社員の方が、サイコ風マイクに要求事を喋りかけると、AIとIoTによる世界観が広がり、想像がつかない展開に楽しさがあった。研修冒頭で、「このショウルームは、機械の値段とか、製品の紹介ではなく、ICT教育でこんなこと、あんなことが出来れば面白いという、研究の場」と言われたが納得できるものだった。



(株)内田洋行 未来の学習空間  
フューチャーズクラスルーム

2020年度教育関係は大きな節目を迎え、小学校から始まるプログラミング授業、大学センター試験の廃止、人

口知能等の技術により、多くの仕事が失われる反面、最新技術を理解し、考え、使いこなす人材が必要とされる。これに対して、ICT教育が果たす役割は大きく、教師は黒板とチョーク、生徒はノートと鉛筆だったが、今後は生徒が考え、答を導き出すアクティブラーニング方式が授業の随所に導入される。今までの「暗記型」では記述式問題は解けない事から、新たな大入学共通テストでの回答を導くことが難しくなる。画面タッチは得意だが、キーボードでのタイピングになれていない若者が多く、今後の端末整備の際にはこのことも念頭に置く必要がある、これを何とかするために、ICT教育をもっと勉強し実践しなければならぬと感じた。

高性能の機械があるから、良いICT教育が出来るのではなく、どのように活用するかが大事であり、これからは民間ノウハウと上手く協力していくことが大事だと思う。研修を通して、久万高原町においても出遅れているICTの利活用の方向性を急いで検討し、専門的知識のある方による、検討委員会の立ち上げが必要であると感じた。

# 議会を傍聴しませんか！

## ● 6月定例会(予定) ●

6月13日(水)	一般質問・議案審議
14日(木)	//
15日(金)	総務文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会
16日(土)	休会
~20日(水)	休会
21日(木)	本会議

**本会議も常任委員会も傍聴できます。**

問い合わせ先 久万高原町議会事務局 TEL / FAX 0892-21-0134

### 議会だより16号訂正とお詫び

議会だより16号11ページ、森林被害関連の質疑の中で、把握している被害森林の面積を、3haと記載しておりましたが、たたくは、30haでした。訂正し、お詫び申し上げます。

## 編集後記

あつという間に、桜も、花桃も散ってしまい、ゆつくりと花を愛でる間もなく、一年の中でも華やかな季節が過ぎ去ってしまいました。

自分の通った小学校や中学校が、無くなった方も多いことと思います。地域の学校が存続している事が、地域活力のバロメーターとなる時代なのかもしれません。

子育て世代に限らず、どの世代にも住みよいまちづくりを、今、町民、町、議会で進めることが急務であると感じます。皆様のご意見、ご提案を議会にもお寄せください。

田植え等、農繁期になりました。気温も上がってきますので、お体にお気をつけください。  
(中野)